

宮城県 ぎんざけ養殖業の共済契約が復活！

がんばる養殖復興支援事業で東日本大震災からの復興を図っていた宮城県のぎんざけ養殖業の計画が8月で終了し、震災から7年ぶりに共済契約が復活しました。

県庁及び漁協の協力のもと宮城県漁業共済組合は、漁業者に対して制度内容を1から説明しなおし、推進を行った結果、漁業者の災害に備える意識も高く、契約件数67件、補償額を表す共済金額83億円（平均契約割合71%）という高い補償内容で契約に至りました。

震災から6年が経過し、漁業者の方々が漁業共済の必要性を感じて改めて契約して頂けたことは、全国の漁業共済組合の役職員にとっても日々の業務を行う上でのモチベーションにつながります。推進にご尽力頂きました関係者の皆様には改めて感謝申し上げます。

平成29年は、さんま、さけ、するめいかの記録的な不漁、赤潮による養殖業への被害、大型台風による定置漁業や養殖業への被害など漁業経営を脅かす事象が多数発生し、自然の脅威と漁業経営のセーフティネットとしての「ぎよさい」と「積立ぷらす」の果たすべき役割の重要性を改めて認識する年となりました。

漁業被害に遭われた方にはお見舞いを申し上げますとともに、共済団体としましても早期支払に向けて努めてまいりますので、関係者の皆様のご協力をお願い申し上げます。

平成29年度の加入実績（11月末累計）

（単位：百万円）

区 分	共済金額			漁業者積立額		
	29年度	28年度	前年比	29年度	28年度	前年比
漁獲共済	190,834	181,090	105%	8,305	7,791	107%
養殖共済	179,463	162,401	111%	6,397	5,402	118%
特定養殖共済	78,665	73,391	107%	2,844	2,678	106%
漁業施設共済	15,497	14,253	109%			
地域共済	7,984	7,226	110%			
合 計	472,442	438,361	108%	17,546	15,872	111%